

たのはた



卒園おめでとう

3月17日に行われた、たのはた児童館卒園式。保護者などが見守る中、卒園児たちが保育証書を受け取りました（関連記事は26頁）

主な内容

- もうすぐ1年生 2頁
- 東日本大震災から7年 4頁
- 平成30年度施政方針 8頁
- 田野畑村フォトコンテスト 34頁

2018
No. 613

4

もうすぐ1年生♪

夢に向かって新たな道へ

「おおきくなったら
なにになりたい?」

田野畑小学校への入学を心待ちにしている新1年生33人。そんなみんなに、将来の夢を書いてもらいました。



三浦 那柚太くん (鳥越)

やまうせんしゅ



野崎 結愛ちゃん (西和野)

とこやさん



早野 裕翔くん (西和野)

らぼ。とらつるひと



工藤 朱夏ちゃん (菅窪)

どーな→やさん



三浦 瑚白ちゃん (鳥越)

ばかーせんしゅ



北田 一成くん (北山)

いんけんおんのうんせんしゅ



上机 徠琉くん (浜岩泉)

おにいしやさん



三浦 綺音ちゃん (鳥越)

ペ。とし。お。の。てんいん



工藤 洸一郎くん (真木沢)

やまゆうせんしゅ



小長根 太輝くん (机)

さかーせんしゅ



早野 春惺くん (羅賀)

さかーせんしゅ



三浦 遥くん (田野畑)

がまリンオオのてんいん



齋藤 玲ちゃん (菅窪)

けきやさん



齋藤 丞くん (菅窪)

さかーせんしゅ



渡部 沙羅ちゃん (真木沢)

けーきやさん



砂森 詩乃ちゃん (羅賀)

がらこうのせしせい



島中 優奈ちゃん (北山)

どーなつやさん



坂本 新くん (田野畑)

けいさつかん



島山 夕奈ちゃん (菅窪)

ほいくしさん



小松山 勝海くん (机)

りょうし



工藤 瑠月華ちゃん (鳥越)

ばあーせんしゅ



中村 紹鵬くん (羅賀)

おーさー



佐藤 香子ちゃん (田野畑)

ほいくしさん



島山 心宏くん (田野畑)

ぼすけ。とぼーるのせんしゅ



島山 壮弥くん (田野畑)

いんかんせんのうんてんしゅ



熊谷 蓮くん (七滝)

けーきやさん



佐々木 皇頼くん (菅窪)

さかーせんしゅ



金野 真奈ちゃん (浜岩泉)

レストランのひと



佐藤 新菜ちゃん (西和野)

けーきやさん



深渡 昊佑くん (羅賀)

さかーせんしゅ



松坂 璃玖くん (菅窪)

くるまやさん



熊谷 夏希ちゃん (浜岩泉)

けーきやさん



熊谷 晟那くん (和野)

ペ。とし。お。の。てんいん

復興に向けて私たちができること！

追悼式には、田野畑小の児童からメッセージが届けられました。
復興に向けて私たちができること——。
復興を願う児童たちのメッセージの一部を紹介します。



東日本大震災追悼式 3月11日 **あの日から7年**

東日本大震災発生から7年を迎えたこの日。田野畑村東日本大震災追悼式は、アズビイホールで行われました。

式典には、村内外から約250人が参加し、犠牲者に哀悼の意を表しました。

式典に先立ち行われた、追悼音楽の演奏では、震災から今までの村の様子がスライドで映し出され、参加者は、復興の7年間を振り返りました。

式典では、国が行う式典の国歌斉唱、黙とう、安倍内閣総理大臣の式辞、秋篠宮さまのおことばを映像中継した後、村追悼式を進行しました。

式辞で石原弘村長は「東日本大震災・津波によって犠牲になられた方々をかたときも忘れることなく、村民を大事にすること、人を手段としない社会をつくること、心の和を大事にするという理念を持って地域づくりを進めていきます」と誓いました。その後、参列者は祭壇に献花を行い、津波犠牲者の安らかな眠りを祈りました。

最後は、田野畑小の児童から寄せられた、復興に向けた歌とメッセージを上映。復興を願う気持ちを届けました。

ドローンで空から見る

復興の軌跡

村全体が大きな悲しみや、不安に包まれたあの日から7年。日本全国、世界各地からの支援に支えられ、少しずつですが、でも確実に、一歩一歩前に進んできました。村は1日も早い復興に向けて復旧工事などを進めています。



東日本大震災で決壊した机漁港沖防波堤は、1月31日に復旧工事が終了



12月15日に開通した、羅賀地区の村道海鳴台線。災害時には、孤立解消の避難路として期待される



島越地区の避難路整備の様子。平成30年度内の完成に向け工事が進む

3月11日 あの日から7年

明戸地区



羅賀地区



島越地区



【震災前】

【震災後】

【震災から7年】

住みやすい村、 住み続けたい村、 そして訪れたい村に

平成30年第1回村議会定例会が3月9日に開会しました。
村づくりの方向性や新年度の主要事業など、石原弘村長が行った施政方針演述、
相模貞一教育長が行った教育行政施政方針演述の内容を掲載します。

新たな政策展開 暮らしやすい村のランドデザイン

30年度は「田野畑村総合計画・後期基本計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「人口ビジョン」などの諸計画を着実に実行していくとともに、東日本大震災からの復興の先を見据えた将来像を描くため、「暮らしやすい村のランドデザイン」（以下「ランドデザイン」）を村民の皆さまとともにまとめていきます。

ランドデザインは、村民の暮らしを創造領域に格上げさせ、新たな暮らしの価値を見出すもので、人々の交流、生活動線に配慮した街づくり、高齢者の暮らしを容易にする街づくりなど、身近な暮らしを改善する事柄が考えられます。村民の皆さまの感性と希望を共有し、実効性ある構想をまとめること、プロセスを大事にした農村都市計画のランドデザインにしたいと思います。

このことは「人口ビジョン」に掲げた1%人口論理を基に定住化方策を定め、空き家バンクなど既存施設の有効利用から始めたところですが、ランドデザインによって、より具体的な定住化対策、根本的な住まいと暮らしの質を高め、住みやすい村づくりを発信する「政策プラン」の確立でもあります。

このように、本村の近未来への希望を具現化するためには、役場庁舎をはじめとした公共施設などの最適な配置や整備の在り方などを検討すること、生活空間、創造的なライフ

現下、日本の情勢は、先行き不透明な時代・混乱の時代と言われています。暗雲立ち込めた不確実な時代に向かう時、自らの来た道を振り返り未来を照らすともしびを得る事・羅針盤を持つことが大事だと思っています。次代を築くともしびを得るため精読すべき謹書『南洲翁遺訓』があります。本遺訓に次の言葉が記述されています。

- 事の大小と無く、正道を踏み至誠を推し、事の詐謀を用う可からず
- 文明とは道の普く行はるるを称賛せる言
- 道は天地自然の道なるゆゑ、講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修するに克己を以て終始せよ。己に克つのは、『母意母必、母固、母我』総じて人は、己れに克つを以て成り、自ら愛するを以て敗るる（中略）恐懼戒慎の意弛み、驕矜の気漸く長じ、其の成し得たる事業を履み、苟も我が事を仕遂んとて、まづき仕事に陥り、終に敗るるものにて、皆自ら招く也。故に己に克ちて、睹ず聞かざる所に戒慎するもの也
- 漢学を成せる者は、弥、漢籍に就て道を学ぶべし。道は天地自然の物、東西の別なし、苟も当時万国対峙を知らんと欲せば、春秋佐氏伝を熟読し、助くるに孫子を以てすべし、当時の形勢と略ぼ大差なし

ワークバランス、知的生活の創造、教育環境、健康寿命を伸ばす暮らしづくりなど、福祉を含めた広範な領域を包含した政策プランであり「農村の都市計画・未来型の政策デザイン」と言えると思います。これまで同様、情報を開示・共有しながら、田野畑村暮らしのイメージづくり、ふるさと・たのはたの暮らしが持続される政策を確立していくものです。広く皆さまのご意見を伺いながら、住みやすい村、住み続けたい村、そして訪れたい村の実現に向けて、果敢に取り組みます。

教育立村と思惟の森

思惟の森構想を想起し、実現へ導きました小田泰一教授の一文「一つの地球、一つの世界、一つの願いを込めて、燃えて生きる、人間の顔は美しい」は思惟の森の学生と田野畑村へのエールにも感じます。

五十数年前、思惟の森構想と教育立村構想は、緑深き大地の喬木に若人が集まるように、思惟する人、燃えて生きる人、久遠の理想を求め人々によって強く、永く、深くつむがれてきました。「思惟する森」と「教育立村」が、大地に林立する喬木たる人間像を求めてきたのだと思います。本村は「教育立村」を村是に、新しい視点・感性を加え、村の宝である児童・生徒の未来を切り拓く、可能性への挑戦を全面的に支えます。

そのために学びの機会を増やし、学ぶことの喜びと充実を感じる教育環境、学習活動の充実（公共の学びの場の拡充、公営塾の運営、スポーツ支援の充実、スポーツ振興、プー

その他の伝承には、学問というものはただ文筆の業のことをいうのではない。必ず事に当ってこれをさばくことのできる才能のある事である。武道というものは剣や楯をうまく使いこなす事を言うのでは無い。必ず敵を知ってこれに処する知恵のある事である。才能と知恵のあるところはただ一つである。の言葉もあります。

このように、西郷隆盛・南洲翁遺訓にある人生観や死生観などから輩出されるものは「人間愛」に満ちた生き方、「正道」を踏むべき教えであると思います。この遺訓を『国利民福』『忘己利他』の精神に生かすため精読し、修身したいと考えています。

東日本大震災の災禍から6年が経過し、迎えた平成29年度は、村内18地区（30年2月末現在）との「災害時要支援者名簿の利用に関する覚書」の締結や「臨時防災ヘリポート」「津波避難力メラシステム」の整備を行い、村の防災体制を大きく強化したところです。

また、4月には旧島越跡地に「島越ふれあい公園」が完成し、羅賀地区に整備中の「羅賀ふれあい公園」も間もなく工事完成を迎えます。これらは津波で犠牲になられた方々を悼み、教訓を後世に伝えていくための施設であり、村民の皆さまとともに、災害に強いむらづくりに向けた志を一つにしたいと考えています。

ル整備など）を推し進めます。これらを進めるために、ランドデザインに教育環境の整備なども検討・反映させる考えです。

先述の西郷隆盛・南洲翁遺訓は、旧庄内藩の関係者が聞き書きしたものを編さんしたもので、41カ条、追加2カ条からなるものです。本遺訓が伝えようとするものは、為政者の心構え、西郷隆盛翁の国家観、文明観を示す多彩なものです。とりわけ、西郷隆盛翁の死生観に溢れているとされます。

西郷隆盛翁の没後百四十年余りの年月を経て、今に生きる者が精読し、その心には「正義は時代を超える」「私欲に囚われず他者に寛容であるべき」の精神の教えが心に響くのです。加えて、「正義」「正道」の言葉には、この現代においても深い意味、示唆ある言葉と感じます。「正義」をもって成し遂げるためには「自己規律」で事に当たれと伝えようとしているのではないかと感じます。時代を越えて学ぶべきことがたくさんあります。本遺訓を現代に活かすため「正義」を追求します。村民と共に正しき道を歩みます。

「一つの地球、一つの田野畑村、一つの正義による村づくりに願いを込めて、燃えて生きる田野畑村の人々の顔は美しい！」思惟する村、教育の村、燃えて生きる田野畑村を取り戻したいと思えます。

村民の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、議員各位におかれましては、新たな価値創造の実現に向けてご提言など賜りますことを重ねてお願い申し上げます。

村政運営の基本姿勢

1 基本的な施策の展開

東日本大震災からの復旧・復興事業については、台風10号被害の復旧工事が本格化し、コンクリートなどの資材や現場作業員が不足する状況が続いています。これにより施工中の復興工事の進捗にも遅れが生じていますが、大型工事の防潮堤整備を除く大方の事業は、30年度で完了する見込みであり、マンパワーを確保しながら早期完成に向けて、事業を推進していきます。



平井賀防潮堤工事の様子(3月12日撮影)

また、2期目の所信表明において、8つの重点施策と5つの公約を申し上げました。その基本には田野畑村に住んでいる方々を大事にすること、人を手段としない社会をつくることなど、人の心・村民の心の和を大事にするという理念があります。村づくりの主役は「村民」であり、人づくりの基本は「教育」と「人に学ぶ事」だと思っています。「教育立村」を村是としながら、価値創造の実現に向けた施策を展開していきます。

2 行財政運営の方針

昨年12月に国から示された30年度の地方財政計画において、一般財源総額は過去最高額だった29年度を0.1%上回り、62兆1千億円余りとされたところです。一方で、地方交付税については、前年度比2.0%減の16兆85億円となり、不足分は臨時財政対策債(赤字地方債)の発行で対処するとされています。

しかしながら、村財政においては、高齢化などを背景に医療や福祉といった社会保障関係費が年々増大しており、地域創生関連事業の推進、庁舎建設や公共施設の老朽化対策などの財源確保も必要となっています。本村における近時の決算により算出された各種財政指標は、国の基準を満たしています。今後においても限られた予算の中で最大の効果が発揮できるように、有利な財源の確保や事業の厳選を行い、健全な財政運営に努めます。特に財源の確保に当たっては、国の補助制度や民間企業などが募集するプロジェクト事業などを積極的に活用していきます。また、行財政改革の一環として、庁内情報システムのクラウド化に取り組み、3月1日から本格運用が始まっています。30年度においても継続して業務改善に努めたいと思います。なお、情報システムのクラウド化によって、整備から5年目以降は、概算で年間2000万円ほどの経費の節減を図ることができることを申し添えます。これからも光ファイバー活用による行政サービスの深化に向けて努力します。

議会へのタブレット端末の導入によるペーパーレス化については、数年前に提案したところですが、ようやく着手することができました。このことは、村民への情報開示・情報共有などを図ること基本にしながら、議会と共に、村民主役の村政運営に努めます。

地域に活力を見出すためには▼ソフト事業重視▼展開性▼緊急性▼柔軟性―を旨とし、住民参加型の行政運営を図るための活動費について、予算に見えないCSR(企業の社会的責任)があります。CSR活動の支援を頂きながら、村民と協働する財源の確保について、企画と情報と情熱によって勝ち取るものでもあると思っています。

今後、サステイナビリティの意味を自覚しながら、CSV(共通価値の創造)にステップアップすることも検討しながら、多様な財源確保を継続的に取り組んでいきます。

3 予算編成の方針

厳しい財政状況が見込まれる中において、30年度予算編成に当たっては、引き続き、東日本大震災からの復旧・復興事業の早期完成に向けた予算を優先的に計上しました。

さらには、総合計画後期計画をはじめとする諸計画、および重点施策の推進、公約の実現に向けて、事業効果、効率性、政策の優先度などを総合的に勘案し、重点配分しました。

地方交付税の減額が予想される中で、財源確保に当たっては、国・県の補助制度や過疎計画におけるソフト事業などを活用するとともに、歳出経費については、村民が将来に希望を持ち、安心して住み続けられるような事業を厳選したところです。

予算編成作業において大切な事は▼慣例・

前例踏襲からの脱却▼単年度主義に陥ることなく先を見据えて臨むこと▼目的と手段を明確にし成果を追い求める予算管理とすること▼成果プロセス×情熱―だと思っています。燃える人は美しく、燃える職場風土を築くことが村民の負託に応えることだとも思っています。現下、職員は、新しい職場風土づくりに向けた風が起きていると感じています。

30年度の予算編成において、ほとぼしる情熱を発していると感じています。自主財源だけに頼ることなく成果を見出し、村民の実質的な参加を促すための活動財源の確保として「地方創生交付金事業」に果敢に挑戦することや「クラウドファンディング」に積極的に取り組む予算編成の方針・姿勢であることをご理解賜りたいと思います。

平成30年度の予算規模(全会計)

※端数処理の関係で数値に若干の差があります

【単位：万円】

区分	30年度	29年度	増減	伸び率		
一般会計	41億9415	53億8000	-11億8585	-22.0%		
特別会計	国民健康保険会計	事業勘定	6億5107	6億9827	-4720	-6.8%
		直診勘定	1億2937	1億3209	-272	-2.1%
	簡易水道会計	3億2107	1億9080	1億3027	68.3%	
	集落排水会計	6026	5134	892	17.4%	
	下水道会計	2690	3244	-554	-17.1%	
	介護保険会計	事業勘定	4億9654	5億1593	-1939	-3.8%
		サービス勘定	1240	1254	-14	-1.1%
	後期高齢者医療会計	3673	3683	-10	-0.3%	
	小計	17億3434	16億7024	6410	3.8%	
	合計	59億2849	70億5024	-11億2175	-15.9%	

平成30年度 主要施策の展開

少子高齢化の進展は国の財政の在り方をも変え、地域創生の掛け声とともに、自主自立の自治体経営が求められ、全国一律の地方交付税措置の時代は終わりを迎えています。自治体は独自の政策の展開が喫要となっています。地方自治体を取り巻く財政環境は、依然厳しいものがありますが、人づくりによって村を興し、自らの手で村づくりを推し進める「教育立村」を村是として、次の8つの重点施策に力を注ぎ取り組めます。

1 人口減少対策

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「人口ビジョン」を策定した28年3月時点の村の人口は3619人でした。

29年3月から社会増減を調査するため転入者を対象にアンケートを行っており、30年1月時点では転出者に対し転入者が5人上回る結果となりました。しかしながら、出生数と死亡数の差による自然減が続いており、人口は3527人（30年3月1日時点）となっています。

計画の目標に掲げた2040年に人口3000人を維持するためにも、引き続きホームページやフェイスブック、YouTube、広報紙を始め、多様なツールを活用して、

村の魅力ある情報を発信するとともに、空き家バンクの充実、定住化促進住宅の整備などに努めながら、移住定住対策と交流人口の拡大に取り組めます。

また、昨年10月に誕生した「タノくん」の着ぐるみに続き、タノくんデザインをお土産グッズなどに展開し、村のPR強化と田野畑ファンの拡大を図ります。

さらには、昨年12月の議会定例会や広報1月号でもご案内のとおり、すべての村民が健康で将来にわたって住み続けることができる街づくりや、庁舎建設を含めた公共施設の配置計画などをランドデザインとして、広く村民の意見を伺いながらまとめます。

2 豊かな自然環境の保全

実施中間年となる第3次田野畑村環境基本計画（28～32年度）の推進に当たっては、目標数値を掲げた各環境施策の進捗状況を点検し、豊かな自然と共生し、暮らしに安らぎのある村づくりの実現に向けて取り組めます。ごみの減量化とリサイクル活動については、引き続き、村民の理解と協力を得ながら推進するとともに、生活排水の適正処理と合併処理浄化槽の普及促進を図ります。

この合併処理浄化槽の普及促進に関して、過般の議会において、議員から提言がありましたように、制度設計の見直しも視野に入れて、定住化の促進につながるよう検討していきます。

また、生活に潤いを与える花のある環境づくりを進めるため、引き続き各行政区への花苗の配布と「花笑みの村」として取り組んでいる梅の木などの広がりを助長すること、花鳥木の美しい村、樹木がサインとなる道・途の空間環境づくりなど『花笑みの村づくり』を推進していきます。

地域コミュニティと環境活動の融合によって、暮らしの創造が、地区ごとのランドデザインと併せて、地域と共に暮らしの環境として寄与できるよう検討したいと思えます。

3 子育て環境の充実

妊婦が安心して出産を迎えられるように、早期受診、早期の妊娠届出を推奨するとともに、新生児家庭訪問や乳幼児健診・乳児相談を実施し、疾病の早期発見・月齢ごとの発達確認を行い、乳幼児の健やかな成長発達に努めます。高校生までの「入学祝い金および卒業祝い金」については、29年度から3月中旬に支給します。30年度も継続実施し、次代を担う子どもたちの健全育成に活用されることを期待します。

若者交流については、昨年8月の「サツパ船・番屋まつり」（体験村・たのはた主催）に合わせて開催した「番屋フェス」が好評であったことから、事業規模を拡大し、村と交流のあるアーティストなどを招き、若者の参画による音楽を中心としたイベントを開催します。



昨年8月に開催した番屋フェス

4 高齢者への生活のサポート

結婚支援事業として県が設置している「いきいき岩手結婚サポートセンター」では、27年度の開設から今年1月末までで、31組の成婚カップルが誕生し成果を上げています。本村においても積極的なPRと入会登録料の助成を継続し、結婚を望む方々を支援します。

本村においても高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯が増え続けています。地域包括支援センターを中心とした見守り訪問や相談対応を充実させるとともに、はつらつ教室や高齢者向けサロンなどを継続し、高齢者が健康で安心して暮らせる取り組みを進めます。

また、介護予防ボランティアや認知症サポートターの養成講座を開催し、高齢者を支える人材を育てます。

まごころ配達便事業については、30年度から非課税世帯要件を廃止し、食料料などの配布を希望する70歳以上の独居高齢者と二人暮らし高齢者世帯に対して、年4回のサービス提供を行います。

5 安全で安心な暮らしの向上

東日本大震災や台風10号にみられる未曾有の自然災害が想定される今日、「生命尊重」



昨年9月に行われた村総合防災訓練。初期消火訓練の様子

の強い決意の下、避難路や一時避難場所、避難看板などの整備を引き続き行います。併せて住民の防災意識を高めるため、自主防災組織の育成強化と新たな組織化を推進します。また、11月には、県主催の「総合防災訓練」および自衛隊による「みちのくアラート2018」が宮古広域管内で実施される予定であり、本村では津波避難訓練を中心に広域的かつ総合的な防災訓練として、県と合同で実施します。村民の皆さまには、有事の際における避難行動を再認識するためにも積極的な参加とご協力をお願いします。

主要施策

6 地域に根ざした産業の振興

豊かな自然と資源に恵まれた本村は、第一次産業が重要な地域産業となっておりますが、担い手確保の課題が依然として続いています。新規就農者実践研修支援事業をはじめとした就農者育成支援に加え、水産業についても漁業就業者支援事業による技術習得と早期の就業促進を引き続き支援します。

6次産業化の推進については、先般、村6次産業化推進協議会において食のブランド「たのはたふるさと食堂」とその商品のお披露目を行ったところですが、村産業開発公社や産業団体との連携を強め、引き続き、同ブランド認定商品の拡大、村産食材の魅力発信やお土産品開発、「食」を核にした交流人口の拡大、各種担い手育成、専門家との連携、起業化支援に努めます。

① 農業の振興

農山漁村振興交付金を活用し、菅窪地区にある「生きがいの館」を農林水産体験交流施設および高齢者などが集うことができる場づくり、関係人口の広がり居場所づくり、生きがいと役割のある施設として改修整備する予定です。教育旅行やインバウンド（訪日外国人旅行）の受け入れ、地域内交流、世代間交流の場、農林業の生産と流通と交流のプ

ラットホームとしても活用していきたいと考えています。このことについては、道の駅構想とランドデザインにより、充実した交流の場づくりを構築する考えであり、多くの皆さまの意見を取り入れていきます。

これまで、さまざまな農林振興を図ってきましたが、地域おこしの範囲を超えられずに衰退してきた感がありました。しかし、地域が持っている資源・財産を磨き直すことも「産業振興」「地域創生」です。

例えば、かつて、振興を図った山ぶどうの栽培は、当初から比較すると10分の1以下まで減少しています。地域資源の食材は、観光と食による地域産業化として、地域に物とお金が循環する仕組みを生み出すことが喫要です。その効果は人の生きがいにも派生し、「地域の力」になります。その他の地域材として、山菜、キノコ、大根、雑穀、豆類などスローフードの提供は、『スローシティ』の村づくりに向けた可能性を秘めていると思います。

農業振興は、コミュニティビジネス・儲かるビジネス・ビジネスサイクル・生きがいと健康に暮らすなどの循環作用してまいります。産業づくりにおいても、ランドデザインの主要な目的にもなると考えています。その意味でも、地域産業・働き方・生きがいと

し、漁業者や漁協女性部などと連携しながら同プランを着実に進め、水産振興を図ります。

商工業の振興については、中小企業振興資金融資事業や観光振興企業経営改善支援事業等により事業者の経営を支援するとともに、雇用機会の拡大に向けた支援を引き続き展開します。地域の暮らしの維持、特に、買い物弱者の解消など商店・商工会の活動は地域の産業をつなぐ機能を有しており、村が進める「ランドデザイン」においても暮らしと買い物、生活と産業の観点からも、大いなる提言と実行を頂きたいと願っています。

物を作る事が目的ではなく、地域の人々の暮らしの価値を高め、元氣印の商店街づくり、人々が笑顔で交わる商店街の再構築などを、商工会および会員各位の参画の下に進めたいと考えています。

この厳しい時にこそ、若人を中心とした積極的な参画によって、ランドデザインは、皆さんの生活に寄与する身近な暮らしの創造、若人が集う街づくりは、村民主役・若人にゆだねながら、皆でつくる未来への街づくりを推し進めていきたいと願っています。それが、ランドデザインが未来を示すかがり火にもなると思っています。

④ 観光の振興

本村の観光振興の玄関、座敷として機能している株式会社陸中たのはたの経営強化、NPO法人体験村・たのはたネットワークの活動の充実や産業団体などの一層の連携・強化を図ります。29年度は、天候や海況が悪く利

健康などを目的とし、農林業の働きの場づくりを推し進めるために必要な実証事業を行います。その事が村民の希求する産業再生、産業開発公社をはじめとする改革の姿であると考えています。同時に、地域貢献する会社・組織であるべき使命を果たさなければならぬと思っています。

産業・なりわいの低迷、厳しい現状を打破するためには、課題解決の方策を共有し同じ道を歩む覚悟が必要となります。想像以上に衰退しているこの現状を、村民、議員の皆さまと共有しながら、『産業のイノベーション』を図っていかねければなりません。

その一つの方策として、諸先輩が取り組んできたことを学び、検証、改善、実証することで、次なる地域産業構造を再構築する姿が見えてきます。併せて、高齢者の持つノウハウを生かした特産振興を関係各位・団体と協議しながら、活力ある農林水産業で生きる村づくりため、前例に捉われないことなく果敢に農業振興を図ります。

また、村営牧野の運営にあたっては、新たに地域おこし協力隊を配置し、畜産農家の貴重な財産である預託牛の適正管理と品質向上を図るとともに、畜産業を目指す後継者などの育成と確保を図ります。

② 林業の振興

30年度から、森林環境の趣旨に沿った取り組みを先行します。森林環境の整備を進める

用者が伸びなかった観光ダイビング事業には、地域おこし協力隊を増員し、首都圏などからの誘客活動を強化するとともに手軽にできるシュノーケリング教室の体験を増やすなど、児童・生徒が海と触れ合う機会をつくります。30年度は、海に親しむ浜辺のイベント、浜辺に親しむ活動の充実を図る考えです。東日本大震災以後、海に親しむ機会が著しく減少していると思います。豊かな海の素晴らしさを感じる機会をつくることは、児童・生徒の情操教育の観点を大事にしながら、家族や地域コミュニティの充実に寄与する活動の展開を図り、地域と人が輝く、教育要因を加味した「観光・海の村づくり」を目指します。

新しい道の駅については、三陸沿岸道路の整備と連携する事で、道の駅の整備効果を最大にすべき点が数多くあることは、既に申し上げてきたとおりです。中央官庁をはじめ関係機関との連携を密にし、ランドデザインの中でも同時並行的に、広く村民などの意見を伺い、当該施設の整備のあり方や運営方針などを明確にしながら、新しい時代に向けた魅力ある道の駅が整備できるように取り組みます。

道の駅整備の目的は、地域の産業の販売の場所づくりです。その整備は、地域生産物をいかに増やすか、生産する喜び・生きがいの充実などが目的になります。村民の皆さまには、主体的な参加によって、当該施設を自ら生かしていくという、ご理解とご協力をお願いいたします。

主要施策
7 社会を支える人づくり

地域の持続的な発展のためには、人材育成が大事であり、村の未来を担う子どもたちの教育環境づくりに力を入れます。
児童・生徒の教育環境については、ICTを活用した校内学習と、夏休みなどを利用した学習塾の運営に取り組み、学ぶ環境を充実させます。教員多忙化の一因とされる部活動

の負担軽減を図るため、本村においても外部人材が単独で指導などができる「中学校部活動指導員」制度を導入します。
小学校においては、むらづくり基金を活用し、スクールバンドなどで使用する楽器の一部を購入し、児童のクラブ活動を支援します。
学校給食センターの整備については、施設の老朽化に伴う衛生管理の課題があることはご案内のとおりであり、グラウンドデザインのことで建設場所などを協議しながら、「食育」という視点も加えて内容の充実を図ります。

主要施策
8 復旧・復興の推進

東日本大震災から間もなく7年となります。台風災害の本格復旧工事が始まったことから、現場作業員が不足するなど震災復興工事に遅れが生じましたが、一日も早い工事完了に向けて鋭意努力します。

大型工事である平井賀漁港（平井賀地区）の海岸施設災害復旧工事・防潮堤工事は32年度までの完成を目指し、工事を進めます。孤立解消道路として整備している村道尾野北山線（村道長峰線改良舗装工事区間）については、池名工区の道路舗装工事と一の渡交差点の見直し改良工事を行い、年内の供用開始を目指します。県道岩泉平井賀普代線の羅賀工区は、現在、県事業として上層路盤などの施工が加わり、完成に向けて工事を進めているところであり、30年度は、付随する内陸側の用地を造成し、羅賀地区漁業者の希望を伺いながら水産共同利用施設などを整備します。
仮設店舗に入居している事業者に対しましては、引き続き店舗の貸し付けを行い、本設営業再開に向けた相談などに対応します。
台風10号被害の復旧状況については、本年度中に2河川3カ所と6路線11カ所の工事を終える見込みであり、災害復旧事業の最終年となる30年度は、残りの2河川2カ所と8路線16カ所の工事を進めます。



小学校でのタブレットを使った授業の様子

公約実現に向けた取り組み

2期目の村政運営にあたり、公約した5つの柱「産業」「福祉」「教育」「地域創生」「定住化の促進」における各施策の実現に向けて、次の取り組みを進めます。

公約実現
1 産業振興

現在、産業開発公社では、現状の経営分析をはじめ、乳製品生産から牧野運営、商品開発および流通販売戦略についての中長期的な分析とその後の方策を含めて「経営診断」の作業を進めています。

経営診断により、膨大な長期債務を抱えた体質改善を図り、自律した経営体質、地域に貢献する会社の確立に向けて、次のステージに移行するものと理解しています。その段階になりましたら、内容と方策などを村民の皆さまに提示し、理解を頂きながら進めます。

層からの発症が懸念される乳がん・子宮がん検診の検診料を無料化し、受診者の負担軽減および健康意識の啓発に努めます。

公約実現
3 福祉政策

福祉政策の一つとして、1月から村民バスの普代・岩泉路線を無料化しました。今後は、

公約実現
4 教育・人づくり

先般、村民を対象に実施した「くらしに関するアンケート」の結果を基に、高齢者の通院支援について引き続き検討します。

高校生までの入学準備金制度について、「小中学校入学および中学校卒業祝い金」として3月から支給します。村づくりの基本は「人づくり」であり、安心して教育を受けられる環境づくりを今後も展開します。

女性活躍推進法の施行から、職場や社会における女性の活躍が目まぐるしく進んでいます。本村においても女性の感性を生かした村づくりを進めるため、男女共同参画サポーターの養成を図るとともに、さまざまな活動を通じて女性が活躍できる場を増やします。

本村は「教育立村」を村是に、新しい視点・感性を加え、村の宝である児童・生徒の未来を切り拓く、可能性への挑戦を全面的に支えます。そのために学びの機会を増やし、学ぶことの喜びと充実感を感じる教育環境、学習活動の充実（公共の学びの場の拡充、公営塾の運営、スポーツ支援の充実、スポーツ振興プール整備など）を推し進めます。

また、明治時代が始まって、今年で150年になります。明治22年の3村合併から本村はもう少しで130年を迎えようとしています。その一環として、30年度から村史編纂を行い、記念事業に向けて進めます。

公約実現
2 保健政策

健康診査やがん検診の受診率の向上に努め、疾病の早期発見・早期治療および適切な医療受診を推進するとともに、働き盛り世代の疾病の重症化予防に努めます。特に、若年



公約実現

5 地域創生

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた5つ基本目標により、人口減少を抑制するためのさまざまな取り組みを展開しており、DCAサイクルによる事業評価と改善を引き続き行います。

事業実施に当たっては、国の枠組みにとられない財源確保を積極的に行う必要があるため、クラウドファンディングなどの資金調達方法を学ぶ機会、ビジネスモデルを明確にしなが積極的に地域創生のためのファンディングに挑戦します。

50年来の交流が続く早稲田大学との包括連携協定は、3月22日に締結することが決定しました。今後も地域創生をはじめ、村のさまざまな課題解決に向けた取り組みについて、大学の協力を得ながら、多様な挑戦を推進します。

公約実現

6 定住化の促進

本村への移住や定住を希望する方々が増えていることから、空き家などの確保に努めるとともに、30年度は西和野地区に単身者向けの村営住宅1棟2戸(2世帯分)を整備します。

また、村に住んでいる人や、住みたいと思っている人が、将来にわたって安心して暮らすことができる居住エリアの設定と整備について

総合計画の着実な推進

実施中間年となる総合計画後期計画(28(32年度)の推進に当たっては、産業の活性化と保健・医療・福祉の充実、社会資本の整備、教育振興の各分野の事業評価を行うとともに、震災復興事業と人口減少に伴う総合戦略に関連する各施策を中心に、着実な取り組みを推進します。そして、行政のみならず、村民一人ひとりが持っている英知を結集し「人材」を「人財」に変えていくことが、新たな価値創造につながっていくものと信じて、「村民による村づくり」を実現します。

今後の総合計画の位置付けなどについて、地方自治法改正に伴い、総合計画の策定義務はなくなっています。この総合計画と政策推進のための事業管理が重複していることが、全国の地方自治体でも議論され、時代背景も反映して地方自治法改正になったものと解します。既に先進地および行政の効率的な運用を目指している自治体では、4年ごとの事業管理を総合計画に一元化しています。

でも、ブランドデザインの中で検討・具現化します。そのためにも、たくさんの方の皆さんの声を寄せていただきたいと思います。

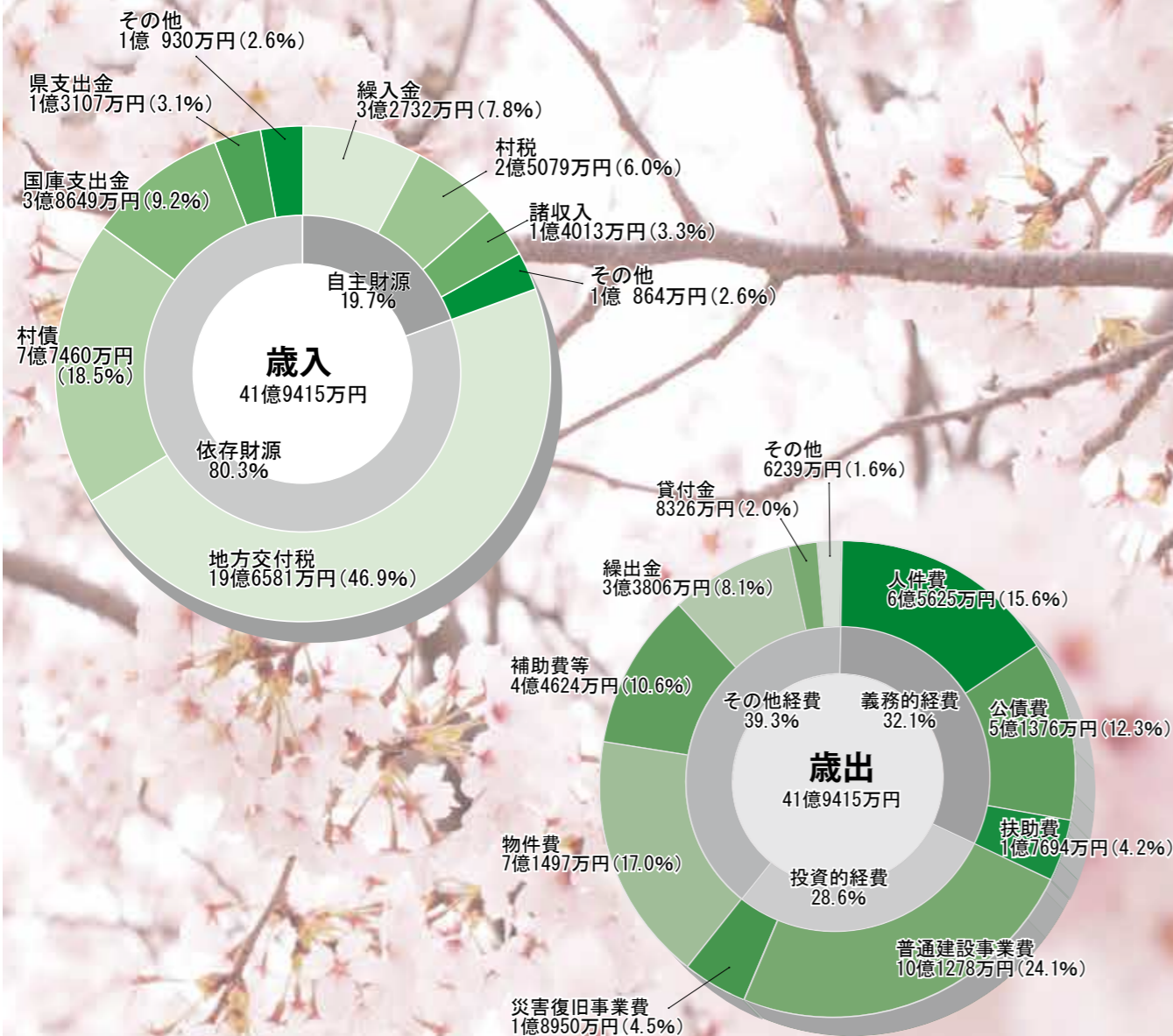
今後については、かねてより議会において表明してきたように、総合計画を策定することなく4年ごとの事業計画を策定することに集中し、まとめることでその機能を維持・充実する考えです。この点について、村民の皆さまのご理解を得ながら、適宜、進めたいと考えています。

組織機構の再編

組織機構の再編につきましては、先述したように行政システムのクラウド化を進めているところであり、行政サービスの低下を招くことなく、行政運営を図ることを基本とし、機構再編は時期をずらし、速やかに議会に上程する考えです。

平成30年度一般会計歳入歳出予算の状況

※端数処理の関係で数値に若干の差があります



重点施策と公約実現に向けた取り組みに要する30年度の予算総額は、一般会計で41億9千万円、特別会計を含めた全会計では59億2千万円余りとなりました。復興工事が終盤に入ってきたことから前年度比、一般会計でマイナス22.0%、全会計でマイナス15.9%の減額となりました。

●はじめに

教育基本法や学校教育法などの教育関連法規や、学習指導要領、県教育委員会の教育行政方針、村政運営方針などに沿いながら、本村の教育成果の進展と、教育課題の克服のために、次に掲げる基本方針や重点施策により、「学校教育の充実」、「社会教育の推進」、「社会体育の推進」、「文化の振興」に取り組みます。

学校教育では、子どもたち一人ひとりに自立した社会人として必要な「生きる力」を身に付させるために、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む取り組みを推進します。また、社会教育や社会体育では、村民のニーズに応じた事業を推進し、村民の健康と生きがいづくりに努めます。

(1) 学校教育の充実

「確かな学力」を育む教育の推進のため、村標準学力検査を小中学校全学年で実施し、分析結果を活用して個別指導や指導方法の改善に取り組みます。

また、小中学校に整備したタブレット端末や、学習支援システムを活用し、児童生徒が意欲的に学習したり学習効果が上がったりするよう授業改善に努めるとともに、校務支援システムの運用により教職員の事務負担を軽減し、児童生徒への学習指導や生活指導が充実するよう努めます。さらに、公営塾の開催で学ぶ場と時を広げます。

「豊かな心」を育む教育の推進のため、学習指導要領において特別の教科と位置付けられた道徳教育の充実に取り組みます。また、スクールカウンセラーの活用や情報モラル指導の工夫・改善に取り組みとともに、関係団体と連携し読書活動を推進します。併せて、中学生の海外派遣研修を実施し国際性、積極性を高めるとともに、異文化理解を深めることに努めます。

「健やかな体」を育む教育の推進のため、学校体育を充実するとともに、児童生徒の望ましい生活習慣の確立や肥満の予防など、学校と家庭や関係機関との連携による健康教育の推進に努めます。特別支援教育については、児童生徒の自立や社会参加に必要な力を育むため、特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな対応に努めます。

いじめや学校不適応の未然防止、早期発見・早期対応のため、学校における組織的な対応の強化に引き続き取り組むとともに、児童生徒の理解やより良い学級経営のために小中学校全学年でQ-U検査を実施しながら、児童生徒の心のケアを図るなど、児童生徒一人ひとりを大切にした教育の実現に努めます。

これらの取り組みをより効果的なものとするために、小中学校9年間を見通し、児童生徒の人間としての成長や学びの連続性を重視した小中連携(一貫)教育の研究や実践を家庭と地域とも連携しながら推進します。教育の機会均等のために、

就学援助を実施するとともに、中等教育や高等教育の機会均等に資するよう、村単独の育英奨学資金の貸与を継続して実施します。児童生徒が安心安全で快適に学べる学校施設の適正な管理に努めます。

(2) 社会教育の推進

教育振興運動については、本村における半世紀を超える活動実績を踏まえながら、全県共通課題である「情報メディアとの上手な付き合い方」への取り組みおよび村内の推進区ごとの課題解決のための活動の活発化を図るため、推進区ごとの体制の整備と相互の交流を推進し、取り組みの発表の場および関係者の研修の場である「田野畑村教育のつどい」を開催します。

地域や家庭の教育力の充実・向上を支援するため、家庭教育学級を開催し児童生徒の基本的な生活習慣の確立に向けた保護者の理解を促す取り組みを行います。友好都市である深谷市や藤崎町との小学校交流事業を実施するとともに、アイラム大学SICEプログラム留学生との心の触れ合い活動の開催や、ALTの参画を得ながら外国で行われている行事を体験するなど、児童生徒の地域間交流や異文化理解の機会に努めます。

また、各種社会教育事業や生涯学習の事業について、村民のニーズを把握しながら計画的な取り組みに努めます。

(3) 社会体育の推進

スポーツクラブや村体育協会、スポーツ推進委員および関係機関や各種団体と

の連携を図り、スポーツ教室の開催やスポーツ交流会を企画し、就学前の児童から高齢者までの村民各層を対象としたスポーツ活動の推進に取り組み、村民の健康と生きがいづくりに寄与できる取り組みの推進に努めます。

また、マレットゴルフ場を活用し、本村の生涯スポーツと位置づけられた「マレットゴルフ」の普及に努めます。体育施設の適正な維持・管理に努め、利用者の利便性の向上に努めます。

(4) 文化の振興

青少年劇場を開催し、児童生徒が本物の芸術文化に触れる機会の確保に努めるとともに、芸術文化関係の各種講座の開催や各種サークルの支援に当たっては、村民文化展での発表を目標とする取り組みを促進します。

県指定、村指定に限らず、有形無形の貴重な文化財や天然記念物など後世に伝えていくため、適正な保存と学習への活用に努めるとともに、村芸術文化協会や郷土芸能伝承団体などの活動の支援に努めます。

●むすび

村づくりの根本は「人づくり」であり、人づくりの基礎となるものが「教育」であり、終わることのない継続的な取り組みが求められていると、強く認識しています。そのため、子どもたちの「生きる力」をより一層育むなど、田野畑村の教育行政に取り組みます。

平成30年度 人事異動

村職員、広域消防職員、学校教職員などの人事異動をお知らせします。

村職員

◆総務課
総務・財政班主任―川畑勝也

◆政策推進課
政策推進班主任主査兼地域創生・メディア対策室主任主査―晴山美恵子

◆復興対策課
復興対策班主事兼建設第一課まちづくりランドデザイン推進室主事―木村恭平

◆生活環境課

課長兼保健福祉課長兼国保診療所事務長兼国保歯科診療所事務長―工藤隆彦、課付主任主査(社会福祉協議会派遣)―横田千穂子

◆建設第一課
課長兼建設第二課長兼まちづくりグラ

ンドデザイン推進室長―佐々木卓男、まちづくりランドデザイン推進室主任主査―角館尚、道路・上下水道班主事兼まちづくりランドデザイン推進室主事―藤森大輝

◆産業振興課
課長兼6次産業化推進室長―渡辺謙克、産業振興・水産復興班主任主査―大澤健

◆議会事務局
事務局長兼選挙管理委員会事務局局長兼監査委員事務局局長兼農業委員会事務局局長―工藤光幸

◆新採用

政策推進課政策推進班主事兼地域創生・メディア対策室主事―坂本文也、保健福祉課保健福祉班養士―下畑優子、農業委員会事務局主事兼議会事務局主事兼選挙管理委員会事務局主事兼監査委員事務局主事―本波侑樹

◆新採用(任期付き)

建設第二課住宅・漁港班主任主査―佐

藤幸喜、保健福祉課保健福祉班主事―三浦栄美里、教育委員会事務局主事―畠山徹

◆退職者

議会事務局局長兼選挙管理委員会事務局局長兼監査委員事務局局長兼農業委員会事務局局長―畠山淳一、生活環境課付主任主査(たのはた児童館長)―中里民子

◆退職者(任期付き)

建設第二課住宅・漁港班主任主査―石井充伸、建設第二課住宅・漁港班主任主査―辻村秀勝、農業委員会事務局主事兼議会事務局主事兼選挙管理委員会事務局主事兼監査委員事務局主事―松家幹

派遣職員
派遣期間終了者
カッコ内は派遣元

建設第一課道路・上下水道班班師―工藤智也(盛岡市)、建設第一課用地対策室主任―仲村公生(若手息)、政策推進課兼地域創生・メディア対策室―江藤俊彦(富士ソフト㈱)

広域消防

異動転出者
カッコ内は異動先
消防第二係長―山本辰志(岩泉消防署)
消防第三係長―佐々木匠(総務課付)
消防主任―立花孝広(川井分署)
消防主任―上山勝(山田消防署)
消防士―石垣裕幸(宮古消防署)
消防士―高木大樹(宮古消防署)
消防士―熊谷崇文(宮古消防署)

教職員

異動転出者
カッコ内は異動先
教諭―藤村隆(盛岡市立好摩小・教諭)
養護教諭―吉田慈(宮古市立磯鶏小・養護教諭)

◆田野畑中

校長―小森田孝道(花巻市立南城中・校長)
副校長―佐々木英幸(盛岡市立黒石・野中・副校長)

教諭―上大澤良光(洋野町立宿戸中・教諭)
養護教諭―伊藤清子(岩泉町立岩泉中・養護教諭)

食材指定部門



グランプリ
柄っえーの串揚げ
サンマッシュ田野畑



準グランプリ

㊤たのはたヨーグルトを家味噌に漬けた焼き椎茸の西京風=産業開発公社=、㊦シイタケのくるみあえ=浜岩泉浦漁協女性部=

自由部門



グランプリ
鮭の中骨缶詰のふりかけ
浜岩泉浦漁協女性部



準グランプリ

㊧田野畑の胡桃とパウダーヨーグルトで作るスノーボール=産業開発公社=、㊨ひつつみ汁=思惟大橋レストハウス=



『たのはたふるさと食堂』

料理コンテスト

料理コンテスト開催
12チームが31品を出品

「たのはたふるさと食堂」料理コンテスト&ランチバイキング(村6次産業化推進協議会主催)は2月25日、ホテル羅賀荘で開かれました。

昨年に引き続き4回目の開催となった今年のコンテストは、シイタケを使った食材指定部門と食材指定がない自由部門の2部門。12チーム約50人が参加し、自由部門に19品、食材指定部門に12品、合計31品の郷土料理や創作料理などが出品されました。

審査員は、ロレオール田野畑の伊藤勝康シェフ、村6次産業化推進協議会の石原弘会長、岩手県沿岸広域振興局の小畑真副局長、工藤求村議会議長、ホテル羅賀荘の泡淵寛料理長の5人。▼アイディアの斬新さ▼ネーミングの工夫▼味の村の食材が生かされているか▼調理のしやすさ▼料理や食材



への思いなどの項目で審査を行いました。

浜岩泉浦漁協女性部
自由部門グランプリ獲得

審査の結果、自由部門のグランプリは浜岩泉浦漁協女性部の「鮭の中骨缶詰のふりかけ」、準グランプリは、村産業開発公社の「田野畑の胡桃とパウダーヨーグルトで作るスノーボール」、思惟大橋レストハウスの「ひつつみ汁」に決まりました。入選は、田野畑漁協女性部の「鱈のお吸いもの」、プロジェクトの「ちゃんこ雑炊」、番屋G.I.T.Sの「ホヤキムチ」、村食生活改善推進員団体連絡協議会Aの「干し柿のこぼれ梅(みりん粕)漬け」の4品が選ばれました。浜岩泉浦漁協女性部の早野くみ

子部長は「女性部で作っている缶詰を使った料理を出品したいと思い、食べやすいようにふりかけにしました。グランプリを頂きとてもうれしいです。この賞を励みに、これから女性部の活動を頑張っていきたいです」と喜びを語りました。

食材指定部門グランプリは
サンマッシュ田野畑

食材指定部門のグランプリは、サンマッシュ田野畑の「柄っえーの串揚げ」、準グランプリは、浜岩泉浦漁協女性部の「シイタケのくるみあえ」と村産業開発公社の「たのはたヨーグルトを家味噌に漬けた焼き椎茸の西京風」の2品が選ばれました。入選は、村食生活改善推進員団体連絡協議会Bの「凍みイモの粉焼売」とプロジェクトの「万能シイタケ七変化その3」の2品が選ばれました。

審査委員長を務めた伊藤シェフは「審査項目の中で、食材に地域の特徴がでているかに重点をおいて審査した。鮭の中骨缶詰のふりかけは、健康的な料理でとてもおいしかった。だれでも簡単に作れて、食べやすいところがとてもよかった。柄っえーの串揚げは、廃棄されることが多いシイタケの柄

を有効に使っていた。串揚げにして、子どもでも喜んで食べられるところを評価した。皆さんが普段から楽しんで料理すると、さらにいい料理ができると思う」と話しました。

約200人が来場
出品料理を味わう

コンテスト出品料理を誰でも味わえるランチバイキングは、多くの住民に村の産物や郷土料理への関心を持ってもらおうと企画したものです。

会場には、村民や近隣市町村などから約200人が来場し、バイキング形式で味わいました。ランチバイキングは、料理を作った人と直接触れ合えるのが特徴。参加者は料理を受け取りながら、食材や調理方法、味付けなどの質問を投げかけていました。

佐藤源一郎さん(73)「七滝は「どの料理もおいしかった。ランチバイキングは、地域の人が集まり、村の食材や料理を知る機会としてとてもいい」と話しました。ランチバイキングの参加者50人の投票で決定した、タノくん賞には、食生活改善推進員団体連絡協議会Aの「田野畑牛乳&山ぶどうのケーキ」が選ばれました。



村のお土産開発につなげる お土産企画アイデアコンテスト



7つの商品の販売を開始 食のブランド「たのほたふるさと食堂」

**食のブランドを立ち上げ
統一ロゴマークで商品を販売**

村6次産業化推進協議会が新たに立ち上げた食のブランド「たのほたふるさと食堂」。同ブランドのロゴマークを付け、商品化した7品が、料理コンテスト内でお披露目され、同日から販売を開始しました。

商品は、①丸ごと生シイタケの南蛮漬（思惟大橋レストハウス）②赤大根のらっきょう酢漬（同）③コロコロ椎茸の炊きこみご飯の素（同）④同イカ入り（同）⑤茎っこワカメと小女子の佃煮（田野畑漁協女性部）⑥茎っこワカメと原木シイタケの佃煮（同）⑦鮭の中骨水煮缶詰（浜岩泉浦漁協女性部）の7品。

販売価格は、缶詰が250円、その他の商品は500円。産直施設やホテル羅賀荘、インターネッ

トなどで販売します。

**コンテスト出品料理
5品を商品化**

お披露目された商品の中には、過去3回開催した料理コンテストの出品料理が商品化に結びついているものがあります。

思惟大橋レストハウスの▼丸ごと生シイタケの南蛮漬▼赤大根のらっきょう酢漬▼コロコロ椎茸の炊きこみご飯の素の3品と、田野畑漁協女性部の▼茎っこワカメと小女子の佃煮▼茎っこワカメと原木シイタケの佃煮の2品です。

今年の料理コンテストには、31品の料理が出品されました。さらに、お土産企画コンテストに129作品の応募がありました。今後、この中から「たのほたふるさと食堂」で商品化、販売されるものがあるかもしれません。

**お土産企画コンテスト
グランプリは地層ケーキ**

今年初の試みとなったお土産企画アイデアコンテストに、田野畑小の児童や村民から116人の応募がありました。

▼お菓子▼ハンカチ▼お守り▼特産品の味を生かした料理▼方言を生かしたネーミングなど、多彩な視点やアイデアが129作品。その中から見事グランプリに選ばれたのは山根恵太くん（田野畑小

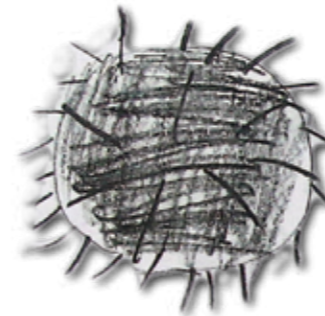


上段左グランプリを獲得した山根恵太くん
下段左から辰巳ちあきさん、和山花月さん、佐藤まつりさん

6年)の「地層ケーキ」。三陸ジオパークの主要な資源である白亜紀の地層の形と特産品の乳製品を組み合わせる発想などが評価されての受賞となりました。

山根くんは「まさか選ばれるとは思いませんでした。グランプリに選ばれてとてもうれしいです」と笑顔を見せました。

今後、村6次産業化推進協議会では、今回寄せられた企画やアイデアを基に、お土産品の開発を行う予定です。



入選 ウニチョコ
似内 陽さん

見た目のインパクトがすごい商品。けれど食べるとやわらかいというギャップが特徴。みんながびっくりする商品。



準グランプリ まるっとたのはた
近藤 利佳さん

田野畑産の食材を使い、村の宝物を詰め込みました。夢をたくさん詰め込んだ商品（バラ売り可）。



グランプリ 地層ケーキ
山根 恵太くん

甘めのチーズケーキで田野畑の地層を表現。チーズは、たのはた牛乳を使って特産品をPR。



入選 田野畑幸運守り
和山 花月さん

お守りの中には、海岸の砂と番屋の塩、ひもは山の緑と海の青、裏には田野畑のマークと特産品の絵で村のよさをPR。



入選 たのぺいとう
辰巳 ちあきさん

田野畑で採れるもので作った甘いお菓子。アワビの貝殻に、4つの味のコンペイトーをのせました。



入選 タノくんどらやき
佐藤 まつりさん

タノくんの絵が入ったどら焼きをお土産にすることで、タノくんが有名になる。楽しく食べられる。



自分たちでくんできた海水を釜に移す作業

村の歴史を学ぶツアーを開催

たのはた歴史満載ツアー（体験村・たのはた主催）が3月10、11の両日、机浜番屋群などで行われました。盛岡市や久慈市などから訪れた参加者は、水くみやまき割りなど2日間かけて作る本格的な塩づくり体験や料理づくり体験、大宮神楽の見学などのプログラムを体験。11日は、津波語り部に参加し、東日本大震災の地震発生時刻にあわせて黙とうを行いました。参加者は「あらためて田野畑村の魅力を知ることができた」と満足した様子でした。



涙を拭きながら、最後の校歌を歌う（田野畑小）

新たな道へ。巣立ちの春

3月、巣立ちの春。村内でも、卒園・卒業式が行われ、子どもたちが新たな道へ旅立ちました。

- 14日、田野畑中卒業式（卒業生25人）
- 16日、田野畑小卒業式（卒業生24人）
- 17日、たのはた児童館卒園式（卒園児19人）
- 24日、若桐保育園卒園式（卒園児15人）

アンチエイジング医学を学ぶ

村は3月6日、介護予防ボランティアと認知症サポーターのステップアップ講座を旧保健センターで開催しました。講師は、スマートエイジング倶楽部の宮田恵代表。18人の参加者は講義で、健康長寿を目指すアンチエイジング（抗加齢）医学について学びました。宮田代表は「日常的に運動を取り入れることで加齢による衰えを予防できる」と伝えました。講義のあとは屋外でノルディックウォーク。参加者は、手軽に楽しくできる運動を体験しました。



笑顔でノルディックウォークを体験する参加者



お母さんありがとう（たのはた児童館）



大きな声でお別れの歌（若桐保育園）



感謝の気持ち込め、花束と手紙を渡す（田野畑中）



南部町の住民から郷土料理を教わる参加者

民泊の先進地で視察研修開催

本村と普代村は3月2日、インバウンド教育旅行の視察研修を行いました。視察先は、町全体で民泊や訪日外国人の受け入れを積極的に行っている青森県南部町。本村と普代村の民泊受入家庭から16人が参加し、郷土料理作りの体験や意見交換などを通じて、先進地の取り組みを学びました。佐々木太さん（66）＝切牛＝は「南部町は、民泊受入家庭同士のつながりが強いと感じた。田野畑でも情報交換の場があると思う」と話しました。

育てた大豆で豆腐づくり体験

田野畑小学校（野中光男校長、児童151人）の3年生が2月27日、大豆を使った豆腐作りを体験しました。使用したのは、3年生が田野畑地区の鋤形定男さんの畑で種をまき、自分たちで育て、11月に収穫した大豆。児童たちは、村食生活改善推進員団体連絡協議会（奥地キミ子会長）の会員の皆さんから作り方を教わり、大豆から豆腐を作りました。さらに、豆腐作りの過程でできる「おから」を使い、きらずだんち作りも体験しました。



笑顔できらずだんちの形をつくる児童たち

縦覧期間は5月1日まで 固定資産税課税(補充)台帳を縦覧

固定資産税の課税の基になっている「固定資産税課税(補充)台帳」を縦覧します。
土地の売買や家屋の取り壊しを行った場合に、台帳の内容が訂正されていないと、誤って課税されることがありますので確認をお願いします。

◆縦覧期間：4月2日(月)～5月1日(火) 午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝祭日を除く

◆場所：税務会計課
◆問い合わせ先：税務会計課 (☎34-2111 内線34)

国や村の仕事についての要望などは 行政相談員にご相談を



熊谷勤己さん

行政相談員に熊谷勤己さん(田代)が委嘱されています。
行政相談員は、国や役所やNIT

〒東日本、東日本高速道路株式会社、国立大学法人、日本年金機構などの特殊法人や独立行政法人などが行っている仕事についての苦情や意見を受け付け、助言をしたり関係機関への通知するなど、皆さんの声を行政運営の改善に役立てる仕事をしています。

聞いてみたいことや困っていること、要望したいことなどがある人は、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

◆問い合わせ先：総務課 (☎34-2111 内線16)

40種類のタノくんスタンプを作成 村公式「LINE」スタンプを販売中

村は、無料通信アプリ「LINE(ライン)」の公式スタンプを、3月5日からLINE STOREで販売しています。

作成したのは、村のマスコットキャラクター「タノくん」のスタンプ40種類。村の方言を使ったスタンプもあります。

◆販売価格：120円(40種類)
◆問い合わせ先：政策推進課 (☎34-2111 内線68)



スマホをかざすと流れる動画 観光パンフレットをリニューアル



村は3月、観光パンフレットをリニューアルしました。大きな特徴は、専用のアプリをインストールしたスマートフォンやタブレット端末を紙面にかざすと、小型無人機ドローンで上空から撮影した北山崎や鶴の巣断崖などの動画を見ることが出来ます。

また、日本語の他に英語と、台湾などで使用されている「繁体字」の計3種類を作成。観光パンフレットは、役場や村内の飲食店、観光施設などで配布しています。

◆問い合わせ先：政策推進課 (☎34-2111 内線68)

放射線量測定結果 全測定箇所が目安以下

◆検査結果(測定日・3月12日)

測定場所	平均測定値 (3ヶ所/時)
田野畑小学校	0.064
田野畑中学校	0.068
たのはた児童館	0.059
若桐保育園	0.064
役場	0.080
アズビィ楽習センター	0.076
村営野球場	0.035
思惟大橋公園	0.058
北山崎園地	0.061
旧山海ろばたハウス	0.088
鶴の巣断崖園地	0.065

◆調査結果…文部科学省による校庭、園庭の空間線量率目安(1時間当たり1マイクロシーベルト)を下回りました

◆問い合わせ先…生活環境課 (☎34-2114 内線22)

宝くじ助成

田野畑自治会(佐藤正明会長、103世帯)では、(二財)自治総合センターの宝くじ助成金を利用して、備品などを整備しました。

整備した備品は、地域の幅広い活動に利用され、コミュニケーション活動の推進に役立てられます。

◆問い合わせ先：政策推進課 (☎34-2111 内線64)

■整備した備品(助成額250万円)

備品名	数量	金額(円)
ソーラー街路灯	1基	1,721,088
ごみ集積箱	4基	839,008
ガス炊飯器	1個	23,436
合計額		2,583,532



田野畑地区公民館前に設置された街路灯

お知らせ

参加者などを募集中

いろいろなお知らせ

人口と世帯	火災
3月1日現在()は前月比	(2月21日～3月20日)
人口 3,527人(-8)	火災の【今月】 1件
男 1,754人(-3)	発件数【今年】 1件
女 1,773人(-5)	無火災の連続記録
世帯 1,452世帯(-1)	(3月20日現在) 1日

知 国民年金保険料のお知らせ

4月からの国民年金保険料は、月額16,340円です。

保険料は、1年分・6カ月分をまとめて現金で前納すると割り引きがあり、大変お得です。4月上旬に送付される納付案内書に、前納用の納付書も同封されていますのでご利用ください。

◆問い合わせ先…宮古年金事務所 (☎0193-62-1963)

知 保育士資格を生かしてみませんか

保育士・保育所支援センターでは、資格を持ちながら保育士としての就職に不安を感じている人やブランクのある人、保育士の就労経験が無い人の就職をサポートしています。

- ◆受付日時…月～金曜日 午前9時～午後5時
- ◆場所…ふれあいランド岩手内
- ◆センターの業務内容…▶保育士や保育所からの相談対応、情報提供▶就労支援▶保育関係者の研修会や就職相談会、職場見学会の開催—など
- ◆問い合わせ先…県社会福祉協議会保育士・保育所支援センター (☎019-637-4544)

知 火災警報器を設置しよう

平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務となっています。設置していない人は設置後、速やかに届け出をお願いします。電話やFAXでの届け出も可能です。

- ◆届け出・問い合わせ先…消防田野畑分署 (☎34-2100、Fax34-2354)

募 能力開発セミナーを開催

- ◆日時…4月23日(月)、24日(火) 午前9時～午後4時
- ◆場所…宮古高等技術専門学校
- ◆研修コース…Excel基礎
- ◆研修内容…表計算ソフトExcelを使用して、データ入力や編集、計算などの基本操作
- ◆対象…マウス操作とキーボードでの文字入力ができる人
- ◆受講料…無料。ただし、テキスト代1,800円が掛かります
- ◆申込期限…4月13日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…県立宮古高等技術専門学校 (☎0193-62-5606)

知 遺言などの相談を受け付け

- 宮古公証役場では、遺言や離婚などの公正証書の作成や、会社の定款認証などの相談を受け付けています。
- ◆受付時間…平日の午前9時～午後5時
- ◆場所…宮古公証役場(陸中ビル2階)
- ◆相談料…無料
- ◆相談方法…電話または来庁
- ◆相談・問い合わせ先…宮古公証役場 (☎0193-63-4431)

知 骨髄バンク登録に協力を

- 骨髄バンクは、治療が難しい血液疾患の患者さんの命をつなぐボランティアです。
- ◆日時…4月10日(火) 午後1時～2時
- ◆場所…宮古保健所
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課 (☎0193-64-2218)

知 精神保健相談窓口を設置

- ストレスやひきこもり、うつ状態、不眠や不安が続く、物忘れなどの悩みに専門の医師が対応します。
- ◆日時…4月24日(火) 午後1時30分～
- ◆場所…岩泉町保健センター
- ◆対象者…精神科や心療内科に受診したことがない人
- ◆申込期限…4月20日(金)
- ◆申し込み・問い合わせ先…宮古保健所保健課 (☎0193-64-2218)、保健福祉課(☎33-3102)

知 各種検査が無料で受けられます

- ◆日時…4月10日(火) 午後4時～6時30分
- ◆場所…宮古保健所
- ◆検査項目…①HIV抗体検査②肝炎ウイルス検査③性器クラミジア感染症病原体検査④梅毒検査⑤HTLV-1抗体検査 ※⑤のみ実名で予約
- ◆結果の通知…①は採血後30分で通知。その他の検査は、10日後以降に面接で通知
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課(☎0193-64-2218)

知 金融犯罪を未然に防ぎましょう

- 東北財務局盛岡事務所では、地域のコミュニティー活動や団体の会合などに伺い、金融犯罪未然防止のための出前講座を行っています。
- 振り込め詐欺などの手口や対策を分かりやすく説明します。
- ◆問い合わせ先…東北財務局盛岡財務事務所(☎019-622-1637)

知 歯や口の悩みを受け付け

- 4月18日の「よい歯の日」にあわせ、歯や口に関する悩みにお答えする無料電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」を実施します。
- ◆日時…4月18日(水) 午前10時～午後7時
- ◆受付内容…歯、口に関する悩みについて
- ◆回答方法…相談を受け付けた後、午後7時以降に歯科医師から相談者に電話で回答
- ◆相談料…無料
- ◆相談電話番号…県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係 (☎019-651-7341)

知 断酒会員によるアルコール相談

- 相談員が自分自身の経験をもとに、アルコール問題で悩んでいる人やその家族からの相談に応じます。
- ◆日時…4月18日(水) 午後1時～2時30分
- ◆場所…岩泉町保健センター
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課(☎0193-64-2218)

知 自殺関連ところの相談

- ストレス、不眠などで悩んでいる人や自死遺族などの相談に保健師が応じます。
- ◆日時…4月12日(木) 午前10時～正午
- ◆場所…宮古地区合同庁舎(宮古市五月町1-20)2階
- ◆その他…前日までに要予約
- ◆予約・問い合わせ先…宮古保健所保健課(☎0193-64-2218)

知 自動車事故被害者の救済制度

- 自動車事故で重度の後遺障害を負った人や亡くなった人の家族を救済する制度です。
- 貸し付けや支給には要件があります。詳しくは、問い合わせてください。
- ◆申し込み・問い合わせ先…自動車事故対策機構岩手支社 (☎019-652-5101)
- 《交通遺児等生活資金貸付制度》
- ◆貸付金額
○一時金…155,000円
○月々…10,000円か20,000円
○入学支度金…44,000円
- ◆対象者…0歳～中学3年生
- ◆返還方法…20年以内の月々均等払い
- 《介護料支給制度》
- ◆受給資格…自動車事故で重度の障害を負ったため介護を必要とする人
- ◆支給額(月額)…29,290円～136,880円

知 精神障害者が雇用義務の対象に

- 「障害者が地域の一員として共に暮らし、共に働く」ことを当たり前にするため、全ての事業主は、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。
- 4月1日から障害者雇用義務の対象として、これまでの身体障害者、知的障害者に精神障害者が加わりました。また、法定雇用率も変更になりました。
- ◆法定雇用率…2.2%(民間企業) ※障害者雇用義務の民間企業は従業員45.5人以上の企業
- ◆問い合わせ先…ハローワーク宮古 (☎0193-63-8609)

知 無料法律相談のお知らせ

- ◆開催日…4月5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)
- ◆時間…午前10時～午後3時
- ◆場所…宮古市役所本庁舎1階
- ◆問い合わせ先…宮古市市民相談室(☎0193-62-2111)

知 点訳図書などの編集体験会

- 見えない・見えにくい人のための、点訳・音訳・録音図書などを制作するボランティアの体験と説明会です。
- ◆日時…4月13日(金) ①午前10時～、②午後1時～
- ◆場所…いわて県民情報交流センター(アイーナ)4階
- ◆問い合わせ先…県立視聴覚障がい者情報センター (☎019-606-1743)

募 県民の森から行事のお知らせ

- 《木工教室 プランター》
- ◆日時…4月21日(土) 午前9時～午後3時30分
- ◆参加費…3,000円(着色料別途1,000円)
- ◆定員…10人(先着順)
- 《カタクリ自然観察会》
- ◆日時…4月29日(日) 午前9時～正午
- ◆参加費…1,000円(温泉入浴券付き)
- ◆定員…20人(先着順)
- 《共通事項》
- ◆場所…岩手県民の森
- ◆申し込み方法…電話で申し込んでください
- ◆申し込み・問い合わせ先…森林ふれあい学習館フォレストi (☎0195-78-2092)

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課に4月20日までにお送りください。正解者の中から抽選で1名様にプレゼントが当たります。

Q 田野畑中学校の今年の卒業生は何人？

- A) 15人
- B) 24人
- C) 25人

■前号(3月号)の正解 Q1→B

■先月当選者(敬称略)
中村 志会之助(埼玉県)

おめでた おくやみ

[平成30年2月届け出分]
(一部敬称略)

●健やかに ～誕生～
三浦 来多実(こたみ)ちゃん
太知・咲奈 島 越
嘉藤 光(ひかる)くん
徳寿・真子 巢 合

■安らかに ～お悔やみ～
畠山 隆雄(77) 和野
道下 カメノ(95) 机
村田 カヨ(89) 机

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

(3月20日現在)

寄付金総額	5457万7343円 856件 (村内131件、県内193件、県外532件)
取り崩し額	1294万5210円
基金残額 (運用益を含む)	4169万7854円

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課 (☎34-2111 内線15) までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：4月1日(日)～5月1日(火)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
4月6日(金)	田野畑小学校入学式	田野畑小学校体育館	10:00～10:50	田野畑小学校 (☎34-2050)
	田野畑中学校入学式	田野畑中学校体育館	13:00～14:15	田野畑中学校 (☎34-2301)
9日(月)	春の交通安全キャンペーン	思惟大橋駐車場	14:45～16:00	総務課(内線16)
5月1日(火)	固定資産税1期 納期限			税務会計課(内線34)
	軽自動車税 納期限			税務会計課(内線31)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 医科診療所☎33-3101 / 歯科診療所☎33-3100 / 保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

◆はまぎくコース(羅賀・机・田野畑方面)

月日	場所	時間
4月24日(火)	平井賀郵便局	9:35～9:50
	グループホームつくえ付近	10:10～10:25
	田野畑郵便局	10:45～11:00

◆おきなぐさコース(沼袋方面)

月日	場所	時間
4月25日(水)	産直プラザ尾肝要	9:50～10:05
	リアス倶楽部付近	10:10～10:25
	沼袋郵便局	10:30～10:45

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

広報たのはたをスマホにお届け

マチを好きになるアプリ

マチイロ

自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

1 役立つ行政情報を見逃さない!

2 自分に合わせた情報が届く!

3 いろいろなマチの魅力をお届け!

編集ごぼれ話
平成29年度も何とか12冊の広報を発行することができました。取材にご協力いただいた皆さん、広報たのはたを読んでいただいている皆さん、本当にありがとうございます。4月から広報担当3年目に突入。気持ちを新たに頑張ります。これからも、取材へのご協力よろしくお願ひします。▼広報担当の楽しさは、いろいろな人に出会えることだと思います。本年度は、どんな新しい出会いがあるか楽しみです。(佐々木 歩)



料理コンテストに出場した、産業開発公社チーム

料理コンテストに産業開発公社チームで参加しました。「たのはた」ヨーグルトは、おいしく毎日食べたいけど、お得な2キロづめを買って、期限内に食べきれなかったらどうしよう」と心配される方がいます。そこで、関西に住んでいた頃に食べていた西京味噌のイメージで、少し塩辛い我が家の自家製味噌とヨーグルトを混ぜ、日持ちする床にしました。肉も魚も野菜も短時間で漬か

り、柔らかくジューシーで風味が増すので、食材指定のシイタケを漬けて西京焼風にしました。また、「離れて暮らす孫たちにヨーグルトを送ってあげたいが、重くて送料もかかり、まとめて送るには賞味期限が短い」と聞いたこともあり。そこで業者に依頼してヨーグルトをそのまま温風乾燥させ、さらに粉末にしてみました。すると、長期常温保存が効き、濃縮されたヘルシーなパウダーヨーグルトができあがりました。お餅を芯にして砕いた鬼クルミを混ぜて焼いたクッキーに、パウダーヨーグルトをまぶしてスノーボール風のお菓子を作りました。ヨーグルト以外にも田野畑は、山に海に食材の宝庫です。また、外から来たからこそ感銘を受ける風土や文化の魅力もあります。地元の方々が身近過ぎて意識されない田野畑の素晴らしさを、広く全国に発信していければと思います。

たのはた暮らし

地域おこし協力隊の

No.16



畠山 利彦さん

みんなのひろば

3月号のドローンで撮影した「辞職坂」を見て思い出しました。50年前のことです。ハイペとコイコロベの間にあるトンネルの真上あたりに、ならつき峠があり、手作りのような石塔があったと記憶しています。探索に挑戦してみませんか。

中村 志会之助(埼玉県)

貴重な情報ありがとうございます。ぜひ挑戦したいと思います。(広報)



佐々木 柊音くん(甲地)

広報の感想や日ごろの出来事、かわいいイラストなどをほがきに書いて送ってください。スペースが許す限り、ここで紹介したいと思います。
◆あて先・問い合わせ先：〒0281-8407 田野畑村田野畑143-11 田野畑村役場 政策推進課(☎34-2111 内線63)

田野畑村フォトコンテスト

— 審査結果発表 —

平成 29 年 7 月 22 日から 1 月 5 日まで作品を募集した、田野畑村フォトコンテスト。コンテストには、30人から74作品の応募がありました。
(講評=岩手日報社編集局報道部 菊池 範正次長)



《最優秀賞》『新世界へ向かって』 滝澤 利光=久慈市=

○講評…霧に包まれた海岸の岩肌と深緑が映える羅賀地区に、日の光が差し込み、幻想的な雰囲気を醸し出した作品。三陸を代表する

北山崎や鶴の巣断崖ではなく、復興が進む羅賀地区に光を当て、改めて風光明媚(めいび)な田野畑の魅力が伝わってくる。

《自然・景観部門》



○講評…みちのく潮風トレイルの鶴の巣断崖自然遊歩道だろうか、洞窟の雰囲気と砂に残った足跡が目を引く作品。まだ知らない田野畑の海岸を発信している。



《カメラの部・優秀賞》
『北山崎のハート』 平坂夏恵=北山=
○講評…雲の隙間から光が差し込み、偶然にもハートの形に海を照らした写真。狙って撮れるものではなく、一瞬を逃さずシャッターを切った撮影者に花丸。



《スマホの部・たのはた三鉄賞》

『Fly Away』 伊藤 修人=宮古市=

○講評…鶴の巣断崖を背景に空に向かって飛び出すおもしろい写真。縦写真で撮影するなど、もう少し海岸の風景を入れてもよかった。



《地域づくり大学たのはた校長賞》

『口開け』 清水 克己=久慈市=

○講評…手前の波がアクセントになっている。シルエットで捉えるか、もう少し望遠で詰めて、作業風景が見える写真が撮りたかった。

《ひと・文化・催事部門》



○講評…植樹から45年。両手が付かないほど大きく成長した杉の木を上手に捉えた。できればもう少しそばに寄り、ローアングルから木の大きさを表現しても良かった。



《カメラの部・優秀賞》『大漁だったか…』
カマターヒサト=普代村=
○講評…漁を終えた浜のお母さん方を撮影。タイトルの「大漁だったか…」と、何があったのか気になる作品。もつと周りの風景を入れて、浜の雰囲気を出しても良かった。



《カメラの部・たのはた三鉄賞》
『三鉄まだかなあ』 中村成=盛岡市=
○講評…駅のホームで電車の到着を待つ家族。一歩前に出て2人を入れ、子どもが手を振るなどの動きがあれば待っている雰囲気が伝わる写真となった。



三浦 優歩^{ゆうあ}ちゃん（2歳0カ月）
徳人さん・知子さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

キティちゃんと食べることが大好きです。好き嫌いせず何でも食べます。性格は、人見知り。妹の面倒をみてくれるしっかり者です。優しいお姉ちゃんになってね。

神山 咲來^{さく}ちゃん（1歳10カ月）
亮平さん・南さん＝西和野＝

お母さんからのひとこと

おしゃべりが大好き。「好きなものは？」と聞くと「え～♡ かわいいもの♡」と言っています。性格は、人懐こくて、お調子者。周囲を笑顔にできるような子になってね。



わが家のアイドル掲載募集中

成長の記念に、広報たのはたにお子さんの写真を掲載しませんか。対象は村内に住所がある1歳～2歳くらいのお子さん。かわいい笑顔で、村の皆さんに元気を届けてください。掲載を希望する人は、政策推進課広報担当（☎34-2111 内線63）まで連絡をお願いします。

○米寿の方々に学ぶことが多い！

平成29年度から米寿を迎えられた方のお祝いを行っています。その際に、先輩方から聞く豊かな人生の積み重ねや教えは、人生の道場のように感じます。人生の教訓や深い思いやりの中に、人間愛の本質を学ぶ機会になりました。

ある方は、幼い時に近所のおばさんから、米の歌を聞かされた思い出を話してくれました。自分が八十八歳になったら、この歌を歌いたいと思いつけてきたそうで、遠くを見つめながら米節を歌ってくれました。

♪米という字を分析すればよ 八十八度
の手がかかる お米一粒粗末にならぬ
米は我らの親じやもの

♪千代に八千代に変わらぬものはよ 尾
上高砂曾根の松 わしとおまえは二葉
が松よ 色も変わらず末ながく

人生豊かな人たちに学び、その思いを後世につなぐことも私たちの役目です。思い出深い貴重な時間を頂きました。



村長石原弘の
村長コラム